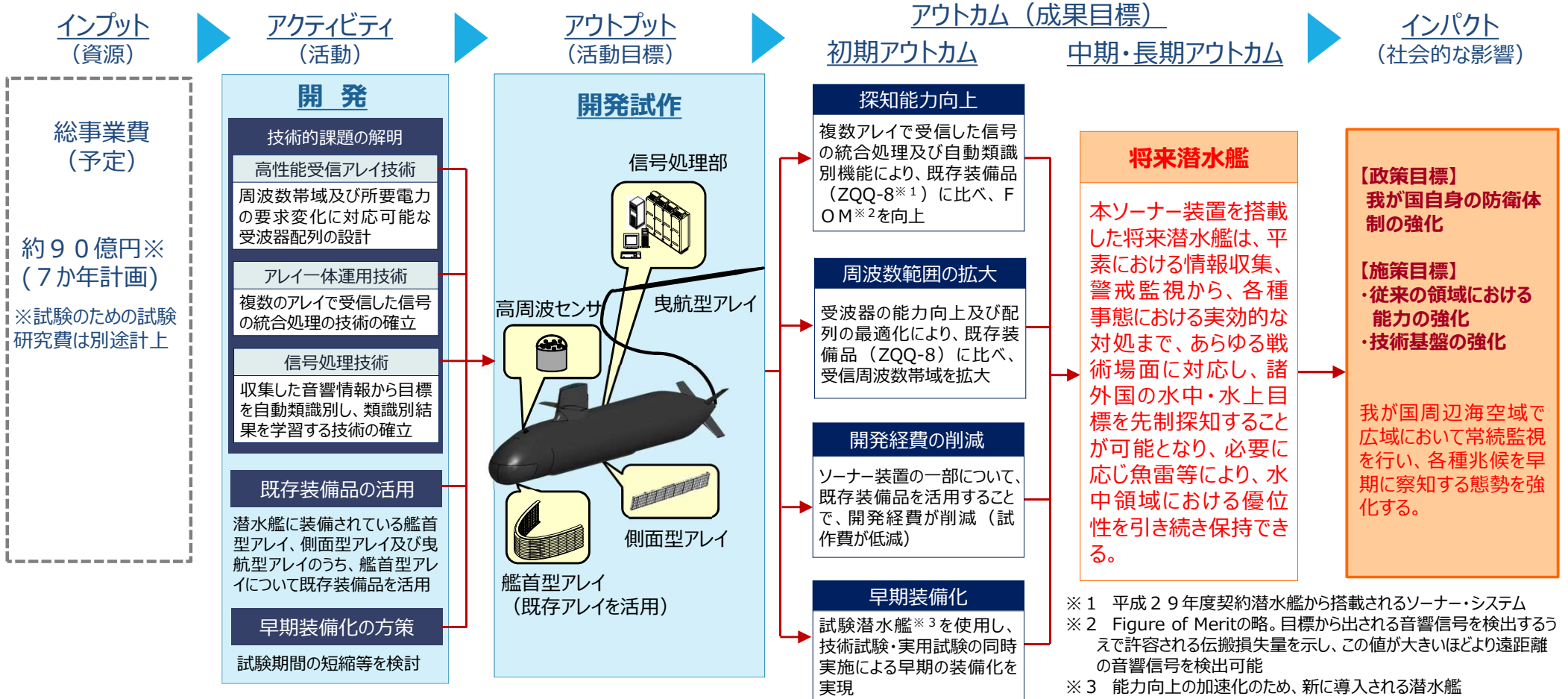


将来潜水艦用ソナー装置の試作

諸外国の水中分野における能力が飛躍的に向上している現状において、そりゅう型潜水艦の代替艦の運用開始が見込まれる令和10年代には、諸外国の潜水艦のソナー探知能力はもとより、静粛性も大きく向上することが見込まれる。そのような将来動向を踏まえ、引続き水中領域における優位性を継続保持しつつ、広域における情報収集・警戒監視を実施するため、その時点で運用が見込まれる潜水艦（以下、「将来潜水艦」という。）用の探知能力が向上したソナー装置の開発を行う。

現状・課題

将来潜水艦の運用開始が見込まれる令和10年代には、諸外国の潜水艦の静粛性は大きく向上していることが見込まれており、将来潜水艦が運用される24年間の期間中、既存装備品の探知能力では、水中領域における優位性を継続保持できなくなる恐れがある。



<開発実施線表>

年度	令和3	4	5	6	7	8	9
実施内容		本事業 (試作)					
						試験	

総合評価

将来潜水艦の運用が想定される令和10年代において、現在よりもさらに静粛化の進んだ諸外国の潜水艦を先制探知するため、将来潜水艦用ソナー装置の開発を実施し、潜水艦の哨戒能力を向上する必要性は理解できる。また、既存装備品の活用や試験期間の短縮など、効率的な事業の実施に努めており、本事業に着手することは妥当であると判断する。